

令和2年度 学校評価 自由記述（保護者アンケート12月実施）

○…良い ◆…要検討 ※…その他

○熱心に接してくれる先生に恵まれ、通わせて良かったという気持ち強い。

◆進路や将来の具体的な事については、やはり不安が強い。

→ 個別面談の際に、キャリア発達段階表などを用いて、お子さんの現在の様子や次に目指したいところについて確認させていただいています。今後さらに、進路指導日よりなどで、将来の姿や進路に関する情報を提供していくようにします。

○担任やたくさんの先生方のご指導のおかげと思います。子どもと一緒に私も成長していきたいと思っています。まだまだ悩んだりおちこんだりすること多くありますが、日々先生方と一緒にやっていきたいと思いました。

○コロナ禍の中、行う(行える)活動、行わない(行えない)活動を取捨選択し、行っていただけたのは、良かったと思っています。

○PTA活動は例年に比べ減ってしまったのかもしれませんが、必要なものを行えたということで、例年、これくらいでも良いのではないかと思います。

◆聾学校の生徒数が少ないのは仕方ないにしても、今後減り続けてしまう事が心配です。そうならないための対策(ひよこ→幼→小→中→高)として、魅力的な学校であることを、内外へもっとアピールしてほしいです。

→ 県内のいろいろな幼稚園・保育園、小学校・中学校、福祉関係者に出向くなどして、聴覚障がい教育について理解啓発を行っています。また、今年度はコロナ禍で規模を縮小しましたが、聴覚障がい教育について積極的に情報提供するための理解研修会も開催し、情報の発信に努めています。

◆PTA活動などにも、うまくWebを活用するなどして、参加率を上げられないかなと思いました。

→ PTA活動については、活動の設定日時、内容の検討を更に進め、皆さんが参加しやすいようにしていきたいと思います。そのうえで、さらに有効な方法がないか、今後検討していきます。

○コロナ禍でも環境に慣れるように、配慮していただきました。帰宅が遅くなった時にとても不安でしたが、すぐに対応していただきとても心強かったです。

《寄宿舍》

○連絡ノートや伺った時に生活の様子を詳しく伝えていただいています。その時に、子どもの性格や個性を尊重しながらも、少しずつ課題に取り組めるように手立てなどを示していただいています。改めて気付かされることが多くあり、とても参考になります。